

令和7(2025)学童クラブ事業年間活動報告書(本館)

じゅらく児童館

行事名	学童クラブ児童						登録外児童		合計	内	容
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1~3年	4~6年			
生活援助機能											
帰館・帰宅時の安全指導	毎日										集団下館の児童は帰宅コースごととに上級生が1年生を間に挟む形で子どもたちが互いに安全に帰ることができるよう指導する。階上・階段下で人数確認をする。丸太町通りの交差点に職員が立ち、信号の見守りを行う。
整理整頓・遊具の片付け支援	毎日										ロッカーに自分の荷物を片付ける際に手前には水筒を置かない(落下防止)、服は畳む、ランドセルのカギは閉めるなど、年間を通して整理整頓の仕方を指導。具体的に示すため写真を使って指導する。遊具も自分が使ったものを責任を持って片づけるよう指導する。
時間の管理	毎日										1日の予定をホワイトボードに時間を書くことで見通しを持てるようにする。
手洗い、消毒の徹底	毎日										帰館後、食事・おやつ前、おやつ後、外遊び後には消毒と手洗いの習慣付けを行う。
挨拶の励行	毎日										帰館時に「ただいま」、おやつ・昼食時の「いただきます」「ごちそうさま」など基本的なあいさつの指導する。
子どもの状況把握	毎日										連絡帳とさくらdaysの活用や、迎えに来られた保護者と情報交換を行う。また、必要な場合は電話で子どもの状況を伝え保護者と共有を図る。
学習環境の整備	毎日										学習環境づくりのため、おやつや取り組みのない時間の育成室を学習スペースとして開放する。平日は5時以降のお迎えを待つ時間に30分間、土曜日や長期休暇中は9時~9時45分に学習・読書の時間を設定する。
出欠確認	毎日										保護者、小学校と連携し、所在確認に努める。連絡なしで小学校から帰ってきていない時や、子どもからのみの連絡の場合などはその都度保護者へ連絡し確認する。
おやつ提供	毎日										名前のチェック表にその日のおやつのおやつのメニューや持ち帰りの可否、ゴミの片付け方について子どもにわかるように記載する。安全と衛生を考えた個包装のおやつを提供している。アレルギー対応の必要な児童には保護者に事前に内容を写真付きで伝え確認をしっかりと行い、提供時には名前付きのクリップをお皿に付け、他の子どもとの区別をつける。
当番活動	毎日										当番の3年生(3年生が欠席の場合は2年生)が同じ班のメンバーに当番カードを配り、本やおもちゃ、トイレのスリッパ整理などを行う。かえりの会での司会を3年生が担当する。

1年生机出し練習	1	15							15	1年生に向けて、学童机を安全に使用できるよう扱い方を説明し、一人ずつ練習をする。生活に慣れてきた5月中旬に実施する。
プラごみのたのみ方練習	1	16							16	エコ活動の一環として、毎日食べるおやつ等の袋等のプラごみを小さくたたみ高を減らすための練習を行う。
年度末大そうじ	1	16	10	5	2				33	新年度を迎える前に1年間使った部屋やロッカーをきれいに掃除をする。
子ども育成機能										
おたんじょうび会	毎月1回	152	134	88	23				397	毎月1回実施する。その月のお誕生月の子どもたちに司会担当児童がインタビュをし、その児童にまつわるクイズを出す。各クラスかえりの会にて、お誕生日カード(カードの質問欄は子ども自身で記入、写真を貼り付ける)のキャンペーンをプレゼントし、みんなでお祝いをする。お誕生日カードは司会はその日の当番の3年生以上が担当する。
児童館探検ツアー	1	19								新入会の児童に向けて、児童館内の各部屋やトイレの場所、避難時の出口等、探検ボードを一人ずつ持ちクラスごとに説明を行う。館内を知ってもらうための活動である。
入会おめでとう会	1	18	18	16	8	2			62	新入会児童を迎え集団遊びを通して子どもたちが交流する。3年生が2年生の3月から企画・準備を始め、当日の運営を行う。
1年生会議	1	15							15	2年生に向けて、1年前の自分たちを振り返り、どんな2年生になりたいかなどをみんなでの意識付けをするために話をする。
2年生会議	2		27						27	3年生に向けての意識付けと、新年度に実施する「入会おめでとう会」の企画・準備を行う。新入会児童へのプレゼント(キャンペーンブーケ)につけるお祝いのメッセージカードを書く。
3年生会議	13								127	学童クラブでの目標を決めたり、みんなであそぼう!の企画・準備を行う。
班発表	1	18	18	16	9	2			63	当番活動を共にする班編成を発表する。
染めたTシャツを畳んで袋に入れよう	1	16	16	11	7	1			51	夏休みに染めたTシャツを職員が小さくゴムをでとめ、子どもたちに配る。自分でゴムを外し、Tシャツを掛け、出来上がりのデザインを楽しむ。その後、畳み方を伝え、袋に入れて各自で持ち帰る。
けん玉取組	取組									夏休み期間中、昼食後に取組の時間を設定し隔日で班ごとに取組む。もしかめの回数ごとにシールを貼れるロジックアートを用意する。
仲よく楽しくおわかれ会	1	13	14	6	1				34	3年生会議で企画・準備を行い、当日の司会進行を行う。「もうじゅうがりが「たからさがし」のあそびを行う。予定では外(園庭)で行う予定だったが、雨のため室内で行う。

みんなであそぼう	1	17	15	11	8	1				52	3年生会議で遊びを考え、企画・準備を行う。当日は発揮する場となる。遊樂保育所園庭をお借りする。
じゅらくこどもまつりに向けての練習	取組										けんだまどダンスのステージ発表をするため、日常のかえりの会や自由時間を利用し、日々練習を行う。
親子行事「Tシャツを染めよう」	1	12	8	2	4	1	30			57	夏休みに親子でTシャツ染めを行う。親子で柄を決め、ゴムをとめたり、染めたりする工程を楽しむ。染めて洗濯をしている間に親子あそびを楽しむ。Tシャツは保護者会よりプレゼントしていただく。
平先生とみんなあそび	1	13	15	6	3					37	交換研修で来ていた平先生が企画したあそびを行う。遊樂保育所園庭をお借りして、「ドン・ジャンケン」と「アラアラおにごっこ」をする。
子育て支援機能											
保護者懇談会	2	11	11	5	1		50			78	7月・12月・3月に保護者懇談会（3月は入会説明会と合同で行う）を実施。子どもたちの日常の写真のスライドショーで上映し、学童クラブでの様子を知っていただく機会を設ける。
入会説明会&保護者懇談会	1	4	2				20			26	新年度登録保護者を対象に入会説明会を行い児童館・学童クラブの内容・方針を伝える。全家庭対象とし実施。新入会家庭の欠席者は後日個別に対応を行う。
個人懇談	23						34			34	6月は新入会生全家庭と希望家庭、1月は希望家庭を対象に行う。
お弁当なしの日	3	76	74	74	22	11				257	保護者会費よりお弁当を購入していただき実施する。保護者の負担軽減のため、夏休み2回・冬休み1回に昼食を用意する。アレルギ－児童の家庭はチェック表を配布し確認していただく。
新入会生児童個人懇談	11						15			15	新入会児童を対象に個別に面談を行う。
みんななかま発行	毎月										学童クラブの予定や子どもたちの様子、連絡事項などを掲載し毎月発行する。小学校に配付。保護者へはさくらdaysで送る。
みんななかま 各月のこどもたち発行	毎月										毎月の子どもの様子を掲載し、発行する。小学校に配布。保護者へはさくらdaysで送る。
小学校担任との懇談	随時										子どもたちの状況により、必要に応じて個別に懇談を行う。
保育所・園との懇談	2										新1年生の出身保育園・所の担任と児童についての情報共有を行う。
連絡帳、さくらdaysの活用	毎日										年間を通じて保護者との連絡ツールとして活用する。
職員との顔合わせ	1	23		1			44			68	新入会家庭に入学式の前と児童館に来てもらい、クラス担当職員との顔合わせを行う。親子写真を撮り、お花をプレゼントする。親子写真は印刷し、後日プレゼントする。

*注1 行事名は、(1)生活援助機能 (2)子ども育成機能 (3)子育て支援機能に分類して記入すること
*注2 2クラス以上の館所で、クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること

<p>3年生が主にリーダーとなり当番活動を行う。かえりの会の前に当番の3年生が、仕事の内容が書かれた当番表を当番のメンバーに配布。おもちゃや本の整理、点検、トイレのスリッパがそろっているかを確認する。基本的に3年生がかえりの会で司会を進行を務める。下の学年は司会等に慣れを身につけて声かけられる子が一定数いる。</p>	<p>3年生が主にリーダーとなり当番活動を行う。かえりの会の前に当番の3年生が、仕事の内容が書かれた当番表を当番のメンバーに配布。おもちゃや本の整理、点検、トイレのスリッパがそろっているかを確認する。基本的に3年生がかえりの会で司会を進行を務める。下の学年は司会等に慣れを身につけて声かけられる子が一定数いる。</p>
<p>1年生机出し練習</p>	<p>1年生に向けて学童机の出し方を、生活に出す際にケガをしない、させないように机の脚も出し方やしまい方も職員が実演を行う。その後、実際に2人1組で机だしの練習を行う。今後も生活の中で机の持ち方や安全な出し方、動き方を繰り返し確認し、安心して使えるように促す。</p>
<p>プラごみのたたみ方練習</p>	<p>毎日提供されるおやつやプラごみやエコ活動の一環として小さくたたみゴミの量を減らすように指導する。繰り返し取り組むことで1年生でもたたみ方の手順が少しずつ定着してきた。声掛けがないとそのまま捨ててしまう子どももおり、習慣化には継続的な働きかけが今後必要である。できている姿を認め、意欲や主体性を高めていく。</p>
<p>年度末大そうじ</p>	<p>班活動として1年間使用してきた場所や物を自分たちで掃除をする。整理、清掃することで「大切に使う」意識が高まったと感ずる。普段行き届きにくい場所まで丁寧に掃除する姿や3年生以上の子たちが学童のリーダーとして、率先して動く姿が見られた。下級生や交代し同士の協力しながら取り組むことができ、集団での協働性が高まった。少数ではあるが、あそびに気持ちがいりてしまえば、集中が解かない場面もあった。達成感や気持ちよさを共有し、次年度への意欲につなげる。</p>
<p>5時以降の保育</p>	<p>育成室のみで最初の30分は復習と読書の時間とし、その後は座って遊び保護者の迎えを待つ時間とする。日によって落ち着きがなく、何度も注意を受ける子どももいた。ルールの再確認を行う。</p>
<p>班編成・班発表</p>	<p>縦割りで班を編成することで、異年齢の仲間づくりを目的とする。日常ではおもちゃの片付けやかえりの会での司会など当番活動を行う。長期休業中の昼食は班ごとに変わる時間枠を決めた。けん玉の取組は班単位で行い、同じ班のメンバー一同声かけあいう姿もみられた。班は徐々に定着したが、日常では日々の当番活動のための同じ班のメンバーを最後まで覚えていない子どももいた。</p>
<p>おたんじょうひ会</p>	<p>月1回お誕生月の子どもをみんなでお祝いする。誕生日カードとキャンディをプレゼントする。キャンディは見栄えも良く、子どもたちも喜んで持ち帰る。誕生日カードは子どもたちが「自分の好きなこと」や「今やりたいこと」を書くため、保護者にも好評。当日は、当番の3年生以上に司会をしてもらい、インタビューからおたんじょうひ会の進行までお願いする。カードの内容をタイムに出し、その子どもたちも知っている機会になる。</p>
<p>児童館探検ツアー</p>	<p>新入会へむけて児童館を知ってもらうために実施。写真を使用して作った「児童館探検ボード」をひとり一人に配り、児童館の各部屋、トイレ、手洗い場など毎日の生活で過ごす場所を知ってもらうことができ、子どもたちにとっても安心につながったと思う。職員の説明を聞く中で、「話を聞く」「順番にまわる」などの集団行動の基礎を体験する機会となった。トイレの使い方やマナーについては個人差があり、継続した指導が必要である。春休みから来た子どもたちが安心して過ごせるようにとの思いでの実施だが、全員が納得しない状態なので、以後は個別対応とした。</p>
<p>入会おめでとう会</p>	<p>3年生が新1年生、新入会生へ向けて入会おめでとうの気持ちを含めて前年度末より企画準備をすすめる。クラスごとにあそびやゲームを考え、準備を行った。また、新入会の子たちへ向けてのプレゼントとしてプラバンキーホルダーをつくり、プレゼントをする。当日のおめでとう会の進行も3年生がおこなった。3年生が中心となった企画や準備を行うことで「リーダーとしての自覚」や責任感が育った。新1年生に対して優しく関わる姿がみられ、思いやりや年下の子への配慮が育まれた。緊張や遠慮が少ないうえに、声の大きさや連日のスムーズさに課題が見られる場面もあった。今後も職員が適切にサポートをしながら、子ども主体の活動を大切にしたい。</p>
<p>みんなであそぼう！</p>	<p>普段同学年や仲の良い友達同士での遊びが多いため、集団での遊びの楽しさを知ってもらえる機会となる。3年生が企画を担当し、その力を発揮する場となる。夏休みを利用した時は遊具期間も長くすることができた。発表保育所の園庭をお借りし、戸外でのびのび活動することができ、1年生から高学年まで楽しむことができた。</p>
<p>平先生とみんなあそび</p>	<p>交換研修で来られていた職員が企画したあそびを発表保育所の園庭をお借りし、戸外で実施する。「ドン・ジャンケン」と「フラフラおにごっこ」をみんなであそびた。「ドン・ジャンケン」では、学年を超えて同じチームのメンバーを応援する姿が見られた。</p>

社会生活技術の獲得

生活体験の拡大

<p>高度支援機能</p>	<p>子育ての仲間づくり</p> <p>新入会児童個人懇談</p> <p>個人懇談</p> <p>お弁当なしの日</p> <p>保護者会との連携</p> <p>小学校担任との連携</p> <p>保育園・所との連携</p>	<p>新入会児童を対象に個別に面談を行う。学童での過ごし方や春休み期間中のお願いをお伝えすることが出来、保護者の思いも聞くことができた。</p> <p>6月は新入会生全家庭と希望家庭、1月は希望家庭を対象に行う。家庭での様子、学童の様子を直接保護者と共有できる良い機会となった。</p> <p>保護者会の協力があり実施する。保護者の負担軽減のため、夏休み2回・冬休み1回に昼食を用意する。事前にメニューをお伝えしていたため子どもたちは当日を楽しみにしていた。アレルギーマスターの家庭はさくらdaysにて成分表を確認していただく。</p> <p>じゅらくこどもまつり実施のため、保護者会と密に連携を取る。絞り染めのTシャツやお弁当なしの日の昼食代を補助していただく。</p> <p>必要時に各担任や養護教諭、教務主任、教務主任、子どもについての共有を図る。</p> <p>新1年生の出身保育園・所に出向き、担任と児童についての情報共有を行う。RS年度に向けて、年度内中に面談をそれぞれ行えるよう日程を調整し実施した。</p>
<p>子育てを支えるネットワーク形成</p>		

5時以降の保育	<p>帰りの会後、職員と本館へ移動し、保護者の迎えを待つ。育成室のみで最初の30分は宿題と読書の時間とし、その後は座ってあそび、保護者の迎えを待つ時間とした。日によっては落ち着きがなく、ルールの再確認が必要だった。</p>
子どもの状況把握	<p>さくらdaysの活用や、迎えに来られた保護者と情報交換を行った。また、必要な場合は電話で子どもの状況を伝える保護者と共有を行った。6月・1月に個人懇談、7月・12月・3月に保護者懇談会(3月は入会説明会を兼ねる)を実施する。また、子どもたちの状況に合わせた必要であれば、随時面談を行った。その他、近隣保育園・園との連携により子どもたち一人ひとりの状態を把握することができた。今後も継続的に行っていく。保育時間中及び閉園時に小学校の教員と顔を合わせることが多い「小学校の中にある分室」という特性を活かし、都度情報交換を行うことができた。小学校側も分室まで子どもを連れて来られたり、教室で忘れ物を届けるなどの忘れ物や、子どもたちがよく遊ぶことでも仲間意識がたまる。この関係は今後も継続していききたい。子どもたちは学年を超えて一緒に好きなものであそぶことが、話し合いをもちあそぶ機会が多くなり、友達関係の方法を学び楽しむようになっていく。あそびのなかでトラブルにもあるが、話さざる限り小学校の運動場に出て、体を動かす自由あそびの時間を確保してきた。今後子どもたちの状況を見ながら、あそぶ時間の確保は大切にしていきたい。</p>
整理整頓	<p>分室に帰ってきたらすぐに荷物を片付けるよう指導した。自分の荷物の管理が出来ていない子どもにはその都度指導を必要があった。ロッカーはランドセルを入れるだけではないにしろ、入らない荷物も入れてしまっている。片付けを促すために、また水筒も学年ごとにかごに入れていた。しかし早帰りをすると、帰る前に声掛けをして確認させてから帰ることが多くなった。冬場は上着など荷物が埋めるため置き場がなくなる。ロッカーにスペースがなくなると入らないため、個包装やおやつ、飲み物の声掛けを継続して行っていた。</p>
遊具の片付け支援	<p>次のあそびに移る時やおやつ前、帰りの会の前には、使っていたおもちゃや片付けのようには片付けを忘れている子どももいるが、子ども同士で声をかけたり手助けする様子も見られた。本などは、出したまま片付けや整理できていない。また、冬場は上着など荷物が埋めるため置き場がなくなる。ロッカーにスペースがなくなると入らないため、個包装やおやつ、飲み物の声掛けを継続して行っていた。</p>
時間の管理	<p>おやつや片付け、帰りの会、取組などは事前に開始時間を伝え、時間通りに始めるにはどう行動すればよいかを子どもたちに考えさせた。自分たちで声をかけ合い行動する姿もある。運動場に出る前は一旦並び、あそび終了時間を伝えてから出るようにしたが、毎日出発までに時間がかかっていた。見通しを持って行動がとれるよう音楽が流れるのを合図とし、曲が終わるまでに行動できるように促したが、一部の子どもには効果が見られず、結果その子どもを待つことになった。</p>
挨拶の励行	<p>帰園時に「ただいま」、昼食時に「いただきます」「ごちそうさま」など基本的なあいさつの励行を指導する。しかしおやつは一言に食はず、個々で食べ始め終わるため、挨拶の声が聞こえない。今後も引き続き、あいさつの励行をしていきたい。</p>
当番活動	<p>生活班が日替わりで順番に当番に当たっている事をホワイトボードと生活班一覽に印をつけ、子どもたちが目で見てわかるようにした。春は2年生以上の子どもがおやつを机に出し、1年生は食卓を机に置く、おやつを始める事を声を合わせて全体に知らせる事から始めた。1年生は安全に机を出せるようになつてから2年生以上と同じ活動ができるようになった。積極的に当番活動をするのは低学年の子どものうちが多かった。高学年は帰ってくる時間が遅い事も個人差もあるが、活動に対して積極的な姿はあまり見られなかった。おもちゃや本の整理、片付けなどを当番員で行い、3年生には帰りの会やおたんじょうひの会の会やおたんじょうひの会の会など当番活動とした。下の学年は司会に慣れを持って姿があり、進級への期待につながった。</p>
班編成・班発表	<p>班は縦割り編成し、異年齢の仲間づくりをした。日替わりでおやつやおやつのおもちゃの片付けや帰りの会での司会などの当番活動を行う。長期休暇期間の朝の会は、上の学年がメンバーを呼び、班ごとで並び、互いにその日のメムバナーを掲示する。昼食準備や食卓を片付ける時間やけん玉の取組やけん玉検定は班単位で行い、「みんなであそぼう」などの行事活動では班を基本で集合し活動した。3年生が意識をもってまとめようと努める姿は、下の学年の良い手本になった。</p>

社会生活技術の獲得

	<p>分室の子どもたちも全員でけんだんまの発表を行うため、帰りの会や自由時間を利用して、日々練習を行った。運動場で行ったリハーサルでは小学校の校長先生、教員も見に来てくださり、子どもたちの学童での取組の様子を知っていただけた機会も持てた。また、当日の発表は、保護者からも好評だった。「何をやるか? どう説明するか?」などの話し合いの場を見た次の日はそれぞれがコーナーの担当として責任を持って活動する姿に、子どもたちの成長が感じられた。その姿を見た次の3年生にも来年度の姿をイメージすることをできた。</p>	<p>じゅらくこどもまつりに向けての取組</p>
<p>3年生会議</p>	<p>目標を決めてみんなに伝えたりと毎月1回会議を行い学童クラブのリーダーとして活動する。今年度の3年生はやる気のある子どもが声を掛け、そこから協力しあい、得意なことを率先して行う姿や助け合う姿が見られた。実施日を予め確認し、予定を変更して参加する子どももいる反面、残って遊ぶため欠席する子どももいた。次年度は3年生会議の取組み方から見直していきたい。</p>	<p>自立の促進と自主性の尊重</p>
<p>2年生会議</p>	<p>新年度に向けての意識付けを行う。特に3年生として学童クラブの中心メンバーとしてリーダーシップをとってほしいことを伝える。4月に行う「入会おめでとう会」の企画・また新入会の子どもへのアプレゼントを作成し、期待感を持ちながら新年度を迎えられるよう取り組む。1月から全体に向けて繰り返し進級と役割について話していたが、意識に差もあり集中も続きにくいため、短時間で伝えるよう工夫も必要だったが、会議には意欲的に参加する姿が見られた。</p>	
<p>1年生会議</p>	<p>新年度に向けての意識付けを行う。1年間の学童生活を振り返り、楽しかったことや悲しかったことを思い返す。楽しい気持ちが増えるように自分は2年生になってどうしたらよいか、また上の学年にしても良かったことなどを具体的に挙げながら自分で考える機会とした。</p>	
<p>分室会議</p>	<p>分室で困りが起きた時に子どもたちから分室会議をして問題を解決したいと声が出たタイミングで実施する。高学年が司会、番記を担当する。また、帰りの会での発表で課題が持ち上がった時には急遽3年生や高学年が司会を担当し、話し合いを行う。子どもたち自身で考え決めた事は、守ろうとする姿が見られた。みんながどうすれば心地よく分室で過ごせるかを子どもたち自身が意見を出し合い考えられる良い機会となる。</p>	
<p>平先生とみんなあそび</p>	<p>交換研修で来られた平先生が企画したあそびを運動場をお借りし実施する。分室内で内容の説明を聞いてから運動場に出で「ドン・ジャヤケン」と「アラアラアアおに(ごっこ)」をみんなであそぶスペースを運動場の半面にしたこととで全体を見守ることができたが、「アラアラアアおに」では、子ども同士がぶつかってしまっていた。</p>	
<p>みんなあそび「みんなでさいごに楽しもう！」</p>	<p>3年生が企画・準備をしたゲームを朱六小学校の運動場で行う。イベント名も子どもたちの案を採用する。相談・決定後は意識の高い子どもを中心に自由あそびの時間を使い形にしていた。当日は3年生もゲームに入り、手本となった声掛けをしてみんなをまよめようと頑張っていた姿があった。3年生が企画したあそびを全員で楽しむことができ、良い1年間の締めくくりのイベントとなった。</p>	
<p>保護者懇談会</p>	<p>7月・12月・3月に保護者懇談会(3月は入会説明会と併せて)を実施する。7月は4月からの子どもたちの様子を写真と共に夏休みの過ごし方についてを伝え、併せて保護者を対象とした避難訓練も実施する。12月には子どもたちの日常を写した写真をスライドショーで上映し、分室での様子を知っていただく機会を設けた。保護者からは子どもたちの様子がよくわかり良かったと感想をいただき、3月は入会説明会後に実施したため、年度末で終了となる子どもたちの保護者の参加が少なく残念だった。</p>	<p>子育てに必要な情報の提供と交換</p>
<p>保護者アンケート</p>	<p>学童クラブ1年間の生活・活動についてのアンケートを実施する。来年度の学童運営の参考資料とする。アンケート集約は3月の保護者懇談会で配付した。</p>	
<p>入会説明会</p>	<p>新年度登壇家庭を対象に入会説明会を行い見聞録・学童クラブの内容・方針を伝える。全家庭対象とし実施したが、一部の保護者は新入会家庭のみと勘違いをしていたので、申請時に重ねて説明する必要がある。当日の欠席者は個別に対応を行った。</p>	

令和7(2025)学童クラブ事業年間活動報告書(朱六分室)

京都市じゅらく児童館

行事名	実施回数	学童クラブ児童						計	内	容
		1年	2年	3年	4年	5年	6年			
生活援助機能										
帰館・帰宅時の安全指導	毎日									集団下館の子どもは帰宅コースごとに上級生が1年生を間に挟む形で子どもたちが互いに安全に帰ることができるよう指導する。分室の前で一旦整列し、先頭の子どもが点呼をしたあと出発する。校門前で再度コースと人数を職員に報告し、職員がチェックのうえグループ毎に見送りをす。状況によっては職員が同行し安全指導を行う。
整理整頓・遊具の片付け支援	毎日									ロッカーから荷物ははみ出させない。水筒は学年ごとにカゴに入れる。ロッカーに入りきらない荷物はロッカーの上に並べて置く。年間を通して声掛けを行う。使った遊具は責任を持って片づけるよう指導する。
時間の管理	毎日									ホワイトボードにその日の予定内容と時間を書くことで見通しを持てるようにする。また、遊び終了から帰りの会までの準備時間は音楽が流れている間に済ませるようにする。
手洗い、消毒の徹底	毎日									分室入室前、食事・おやつ前後、外遊び後には消毒と手洗いの習慣付けを行う。
挨拶の励行	毎日									帰館時に「ただいま」、おやつ・昼食時の「いただきます」「ごちそうさま」、下館時に「さようなら」など基本的なあいさつの指導する。
子どももの状況把握	毎日									さくらdaysと分室スマホの活用と、迎え等で分室に来られた保護者と情報交換を行う。また、必要な場合は電話で子どもの状況を伝え保護者と共有を図る。
学習環境の整備	毎日									学習環境づくりのため、分室に帰ってくる時間にはパターナージュンで部屋を仕切り学習スペースを確保する。6:30申請の子どもは本館に移動後の30分間、土曜日や長期休暇中は9時~9時40分に学習・読書の時間を設定する。
出欠確認	毎日									保護者、小学校と連携し、所在確認に努める。連絡なしで小学校から帰ってきていない時や、子どもからもからの連絡の場合などはその都度、保護者へ連絡し確認する。
おやつ提供	毎日									おやつの名前チェック表にその日の日メモや欠席を記載し、子どもたちが自分で食べる前に子エックを入れるようにする。またゴミ箱を色で分け、捨てる場所が子どもにもわかるように記載する。おやつは安全と衛生を考え個別包装のおやつを提供している。アレルギー対応の必要な児童には保護者に事前に内容を写真付きで伝え確認をとる。提供時には名前付きのクリップをお皿に付け、他の子どもとの区別をつける。

当番活動	毎日																	おやつのおもちゃや本棚の整理・整頓を生活班が日替わりで当番を担当する。帰りの会やおたんじょうび会の司会は当番の3年生が担当する。
1年生机出し練習	1	14																1年生に向けて、学童机を安全に使用できるよう扱い方を説明し、一人ずつ練習をする。生活に慣れてきた5月中旬に実施する。
ブラごみのたたみ方練習	1	14	12	8	1	1	1	1	1									エコ活動の一環として、毎日食べるおやつのお菓子のゴミを小さくたたみ、かさを減らすための練習を行う。
年度末大そうじ	1	11	11	10	1	1	1	1	1									新年度を迎える前に1年間使った部屋やロッカーをきれいに掃除をする。
子ども育成機能																		
入会顔合わせ	1	18	130	93	1	12	14	10	397	30								新入生家庭に入学式のためと児童館前の小雀ひろばに来てもらい、クラス担当職員との顔合わせを行う。親子写真を撮り、お花をプレゼントする。親子写真は印刷し、後日プレゼントする。
おたんじょうび会	毎月1回	138	14	11	2	4	3											毎月1回実施する。誕生日カードは子ども自身で記入し、写真を貼り付けチャレンジレーンに出す。司会担当児童がインタビューをし、その児童にまつわるクイズを出す。司会はその日の当番の3年生以上が担当し、みんなでお祝いをする。
入会おめでとう会	1	17	14	11	2	4	3											新入生児童を迎え集団遊びを通して子どもたちが交流する。3年生が2年生の3月から企画・準備を始め、当日は小学校の運動場で行う。
1年生会議	1	14																1年前の自分たちを振り返り、どんな2年生になりたいかなど考え進級への意識付けをするために話をする。
2年生会議	2		20															3年生に向けての意識付けと、新年度に実施する「入会おめでとう会」の企画・準備を行う。新入生児童にプレゼントするキャラクターブローチに付けるお祝いのメッセージカードを書く。
3年生会議	16			128														学童クラブでの目標を決め、「みんなであそぼう!」の企画・準備を行う。らくらくこどもまつり3年生コーナーの企画・準備を行う。
分室会議	3	37	35	26	2	4	6											分室内で問題が持ち上がった時や、遊び方やルールを考え直した時など、子どもたちから提案があった時に実施する。司会、書記は高学年が担当。
班発表	1	17	14	11	2	4	3											51 当番活動や集団行動を共にする生活班編成を発表する。
染めたTシャツを袋に入れてよう	1	8	10	8	1	1												夏休みに染めたTシャツを子どもたちに配る。自分で作ったTシャツのデザインを楽しんだ後、型み方を教え、袋に入れて各自で持ち帰る。

けん玉取組	取組											夏休み期間中、昼食後に取組の時間を設定し、班ごとに取組む。もしかめの回数ごとにシールを貼れるロジックシートを用意する。
みんなでさいごに楽しもう！	1	13	11	7			1					3年生会議で企画・準備を行い、当日の司会進行を行う。「フープレース」「くぐってぐって」、「けいどろ」のあそびを小学校の運動場で行う。
みんなであそぼう	1	14	11	13	3	3	1					3年生会議で遊びを考え、企画・準備を行う。当日は司会・進行も担う。小学校の体育館で行う。
じゅらくくどもまつりに向けての練習	取組											ステージ発表で音楽に合わせて行うけん玉をするため、自由あそびの時間や帰りの会を利用し、練習を行う。
平先生とみんなあそび	1	13	10	7			1					交換研修で来ていた平先生が企画したあそびを行う。小学校の運動場で、「ドン・ジャンケン」と「フラフープおにごっこ」をする。
ドッジボール練習	3		14	21	1	3	1					ブロック交流で行うドッジボール大会に参加する本館の子どもと合同で練習や対戦を行う。
子育て支援機能												
親子行事「Tシャツを染めよう」	1	13	9	9			2					夏休みに親子でTシャツ染めを行う。親子で縦横決めから染めまでの工程を楽しむ。染めの定着時間は分室で昼食を取つてももらい、洗濯をしている間は親子あそびを楽しむ。「Tシャツは保護者会費より購入する。
保護者懇談会	2	7	5	2								7月・12月・3月に保護者懇談会（3月は入会説明会と合同で行う）を実施する。子どもたちの日常の写真をスライドショーで上映し、学童クラブでの様子を伝える。
入会説明会&保護者懇談会	1	7	5	2								新年度登録児童の保護者を対象に入会説明会を行い児童館・学童クラブの内容・方針を伝える。全家庭を対象とし実施する。新入会家庭の欠席者は後日個別に対応を行う。
個人懇談	23	1		1								41 6月は新入会生全家庭と希望家庭、1月は希望家庭を対象に行う。
お弁当なしの日	3	37	34	28	6	9	2					保護者の負担軽減のため、夏休み2回・冬休み1回、昼食を用意する。アレルギー児童の家庭はチェック表を配布し確認を行う。保護者会費にて昼食を購入する。
新入会家庭面談	13											26 新入会家庭保護者を対象に個別に面談を行う。
みんななかま発行	毎月											学童クラブの予定や連絡事項を前月末までに毎月発行する。小学校教員に配付する。保護者へはさくらdaysで送る。
みんななかま 各月のことどもたち発行	毎月											毎月のことどもたちの様子を掲載し発行する。小学校教員に配付する。保護者へはさくらdaysで送る。
小学校担任との懇談	随時											子どもたちの状況により、必要に応じて個別に懇談を行う。

